

(様式2)

令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業報告書

令和5年3月20日

国際交流推進センター長 殿

事業責任者(申請者)

所 属 芸術地域デザイン学部

職 名 准教授

氏 名 石井美恵

下記のとおり令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業の実施結果について報告します。

1.国際研究集会名	パンデミック下におけるアルメニアと日本の文化遺産保護の国際交流		
2.事業責任者 (申請者)	石井美恵	3.所属・職名	芸術地域デザイン学部 准教授
4.開催期間	令和 41 年 12 月 16 日 ~ 令和 年 月 日		
5.申請区分	A) 学術交流協定(大学名) B) 共同研究 C) 一般		
6.参加者数 ※参加者名簿(別添) を添付	参加者数 33 名 内、外国人数 15 名、研究者数 17 名、 学部学生数 6 名、修士以上学生数 2 名		
7.招待講師	①所 属 高知大学 職 名 准教授 氏 名 松島朝秀 ②所 属 東京文化財研究所 職 名 客員研究員 氏 名 間舎裕生 ③所 属 NHK文化センター 職 名 講師 氏 名 横山翠		
8.支出額	金 額 200,000 円 【内訳】 謝金 143,432 円 旅費 56,568 円		

	消耗品費 0 円
9.国際研究集会の内容	
<p>文化庁委託事業「アルメニアにおける文化遺産保護の人材育成事業」（2021-2023）について、コロナ禍の2年間のリモート研修を経て今年の9月に現地研修を実施した。本研究集会ではアルメニアと日本の研究者による文化遺産保護の人材育成交流について学生を含む一般向けにオンラン会議を開催し、海外事情を分かりやすく報告した。</p> <p>司会：石井美恵 アルメニア語通訳：*アルメニアいろはセンターNGO</p> <p>16:00 石井美恵：趣旨説明 16:10 土屋貴哉（本学）・近藤恵介（本学）・横山翠：パンデミック下のリモート教材の制作とリモート研修 16:30 石井美恵：アルメニア現地研修報告 16:45 マリネ・ペトロシャン：エチミアジン大聖堂付属博物館からの報告 17:00 間舎裕生：アルメニア歴史文化遺産研究センターの考古研修報告 17:15 エレナ・アトヤンツ：アルメニア歴史文化遺産研究センターからの報告 17:30 松島朝秀：歴史文化遺産研究センターの保存科学研修報告 17:45-18:00 パネルディスカッション：これからのアルメニアと日本の文化遺産保護の国際交流について</p> <p>* 学生は最初は教室で聴講していただいたが、会場の電波が悪かったため、配信場所を演習室に変更して講師も移動したため、結果としてリモート参加となってしまったが、講師との交流はできた。</p>	
10.事業実施による成果・今後の事業の発展等	
<p>事業についてアルメニアと日本の関係者および学生、一般に伝える機会をなつた。文化庁にも佐賀大学の学内助成による報告会を実施した旨伝達し、対外発信について喜んでもらった。令和5年度も事業が採択されており、来年度はより対面が可能となる状況になるので、別の形式で事業の対外発信を佐賀から行ってゆきたい。</p>	

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。